

ハンドボール No. 101

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高专
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合番号 **玉名-男28**

年月日 **2019年8月5日(月)**
大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A		学校法人石川高等学校						大阪体育大学浪商高等学校						B	
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		会場		回数	
熊本県		玉名市		玉名市総合体育館		玉名市総合体育館		玉名市総合体育館		玉名市総合体育館		玉名市総合体育館		2回戦	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-30分	A	B	
	9	16	16	27											
7m得点/総数		A		チームタイムアウト		チームタイムアウト		B		7m得点/総数					
0/0		1		2 後半 3		1		2		3		1/1			
		1840		1251											

No.	学校法人石川高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪体育大学浪商高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	永沼 颯士							2	安達 圭吾	2					
2	吉岡 翼							3 C	山田 陵平	1	1				
3	木村 聖哉							4	佐々木 惇也						
4	斎藤 喬広							5	木村 翔太	4		1			
5 C	引地 海	8						6	濱田 昇悟						
6	横山 蓮							7	泉本 心	3					
7	岡部 颯	1						11	下川 陽向	2					
8	濱崎 翔太	1						13	難波 克	4					
9	矢作 宙	2						14	篤谷 日向	4					
10	小豆畑 翔	2						15	森岡 栄翔						
11	鈴木 雄太	2		1	1			16	今井 寛人						
12	吉田 徹平							17	泉本 繁輝	6					
13	渡邊 大晴							18	松川 兼心	1					
14	園分 一央							21	林 優尊						
役員A	小針 竜之							役員A	徳永 昌亮						
役員B	角田 智成							役員B	山本 智章						
役員C	鈴木 稔也							役員C	浅野 帆夏						
役員D								役員D							

A	小針 竜之	チーム役員A署名	徳永 昌亮	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	山地 翔	川内 健矢	小池 翔	小池 健
TD	加藤 俊宏	藤本 幹生	加藤 俊宏	藤本 幹生
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 103

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 5日 月曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	後半	総得点	チーム名
16	学法石川	16	9-16	7-11	27	大体大浪商
			後半			
			第2延長			
第1延長	—	—	7MC	—		
—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—		

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	後半
	<p>前日、境高校との接戦を制した学法石川と、前評判が高い大体大浪商との2回戦。まずは大体大浪商が松川のサイドシュートで先制すると、学法石川も永沼の好セーブから鈴木が取り返す。大体大浪商は、泉本繁の中央攻撃をはじめ、サイド、ポストと多彩な攻撃で得点を重ねる。対して学法石川は、引地、小豆畑の強打で対抗し、互角の戦いを展開していく。中盤に入ると、学法石川の得点が止まったのに対して、大体大浪商は一人一人がしっかりとシュートを狙い、得点を重ねていき点差を広げていく。終盤、濱崎や矢作の突破で学法石川も食い下がるが、ここでも泉本繁の強打がゴールネットに突き刺さり、大体大浪商が7点リードで前半を折り返す。</p>	<p>学法石川は、ノーポストから矢作、小豆畑の両サウスポーをバックプレーヤーに配置し、攻撃に変化をつけてきた。早速矢作のロングシュートが炸裂し、その効果が出たが、大体大浪商もその後は堅い守りで簡単に得点を許さず、攻めても木村の速攻からの得点をはじめ、後半も一人一人がよくシュートを狙い、難波が7mTを決めて半分を折り返したところで、その差を9点とした。その後は、学法石川も引地の連打で互角の戦いを見せるが、ここぞというところでは、泉本繁が得点を奪い、学法石川の追従を許さない。終盤大体大浪商は序盤からのリードを保ったまま、余裕を持った試合運びで勝利を収め3回戦へと駒を進めた。</p>

記入者 松本 政之